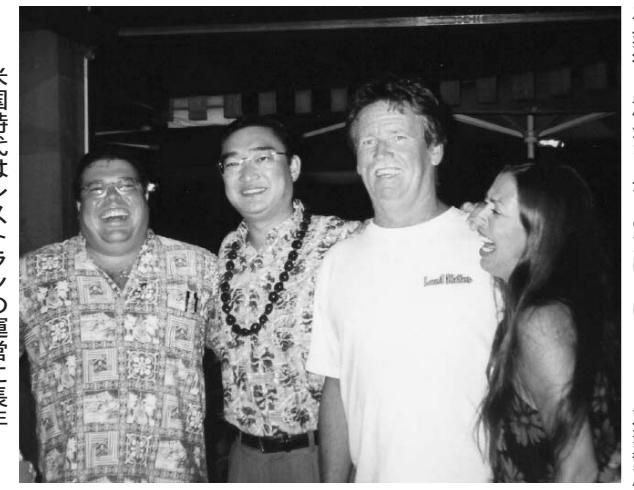


# 産業人クラブだより 一かけはし

米国時代はレストランの運営に長年  
携わった（左から2人目が本人）

（全4回）

## 小さくても本物

栃木県高根沢町に本拠を置く計測技術研（栃木県高根沢町、高橋英雄社長、028-680-1611）。隣県の福島県で東京電力の福島第一原子力発電所の事故で放射能漏れが深刻化する中、同社の開発した計測システム（写真）が今、注目されている。

その名は「G Sense（ジーセンス）」。

インターネットを通じて放射線量を常時モニタリングできる計測システムで、定点観測した放射線量をパソコンやスマートフォン（多機能携帯電話）などでリアルタイムに確認できる。

システムは放射線量計と、電源となる太陽光発電モジュールを百葉箱などに入れ、地上から1㍍の高さに設置。放射線の一種である（ガンマ）線を24時間定点観測し、データは1分ごとに更新される。



同社の創業は1980年。前の職場の古河電工で技術者だった高橋社長が、遠隔地から観測したデータを収集できる「リモート計測」の開発を目指して独立した。

設立から30年が経過し、これまで気象庁の緊急地震速報に活用される地震計測器など多くの計測機器を開発してきた。

ジーセンスは地元高根沢町の全6小学校への納入が決まっている。「常に新しいことに挑戦し続けてきた」と高橋社長。放射線量測定という重責を担う仕事だが、思いに揺るぎはない。

17歳で米国に留学し、その後2年間を過ごした。海外留学を希望したのは祖父と父の影響が大きい。祖父は鉄の技術者で、日本特殊鋼（現大同特殊鋼）に勤務し、一時期ドイツの国立研究所に留学した。退職後は韓国で製鉄所の建設を指導した。また父は大学卒業後、海外を見てみたいという

米国での生活は学業、仕事ともに大変だった。ただ仕事面では日本食が大好きで、一定の成果を収めることができた。その理由はやはり日本食のすばらしさだ。この点が現地の人から受け入れられた。また家電や自動車など日本のモノづくりのすばらしさも実感した。外から日本を見ることで日本の良さを再認識できたと感じている。

## 栃木 計測技研 放射線量瞬時に確認

## 米留学で日本の良さ認識

本多機工・龍造寺健介社長 ①

理由から米スタンフォード大学に留学した。大学院でビジネスを学び、修了後は大学で日本語講師を務めた。帰国後は日清紡績（現日清紡ホールディングス）子会社に入社。ドライクリーニングマシンを輸入・販売する仕事を手がけた。

私の兄弟は男ばかり4人で、私は三男。

兄2人は大学附属の高校からそのまま大学へ進学したが、私は同じ道を進む気になれず留学を決断した。オハイオ州の高校に編入し、「デザイン」が好きな弟たちだったので大学はカリフォルニア州のカリフォルニア美術大学を選んだ。

父は「学費は払うが、生活費は自分で稼げる」という方針だったため、入学後は日本料理店で働いていた。そのころオーナーが、ジャズの聴ける居酒屋を開店することになり、支配人に付けられることで運営を任せられた。ジョー・バーンハービー・ハンコック著書『ニュージャン』が上演し、お店は大変繁盛した。

米国での生活は学業、仕事ともに大変だった。ただ仕事面では日本食が大好きで、一定の成果を収めることができた。その理由はやはり日本食のすばらしさだ。この点が現地の人から受け入れられた。また家電や自動車など日本のモノづくりのすばらしさも実感した。外から日本を見ることで日本の良さを再認識できたと感じている。

## 8—9月の予定

### 【8月】

10日（水）埼玉産業人クラブ「分科会」講師：自分樂代表取締役・崎山みゆき氏（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局）  
17日（水）新潟産業人クラブ「社長会」会員スピーチ・納涼大会（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

23日（火）日本産業人クラブ連合会・東京産業人クラブ・埼玉産業人クラブ・千葉産業人クラブ「首都圏産業人クラブ合同・若手・地域間交流」（東京都台東区、伊豆栄梅川亭）

26日（金）埼玉産業人クラブ「ものづくり企業経営革新 in 川口」（埼玉県川口市、川口商工会議所）

### 【9月】

1日（木）名古屋産業人クラブ「在名古屋各県事務所、学習会＆懇親会」（名古屋市東区、日刊工業新聞社名古屋支社）  
2日（金）埼玉産業人クラブ「上期役員会」（さいたま市中央区、ラフレ埼玉）  
3日（土）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会「第6回ビジ研親睦ゴルフ大会」（埼玉県上尾市、

2011年（平成23年）8月5日 金曜日

2011年（平成23年）8月5日 金曜日